

海洋情報の提供

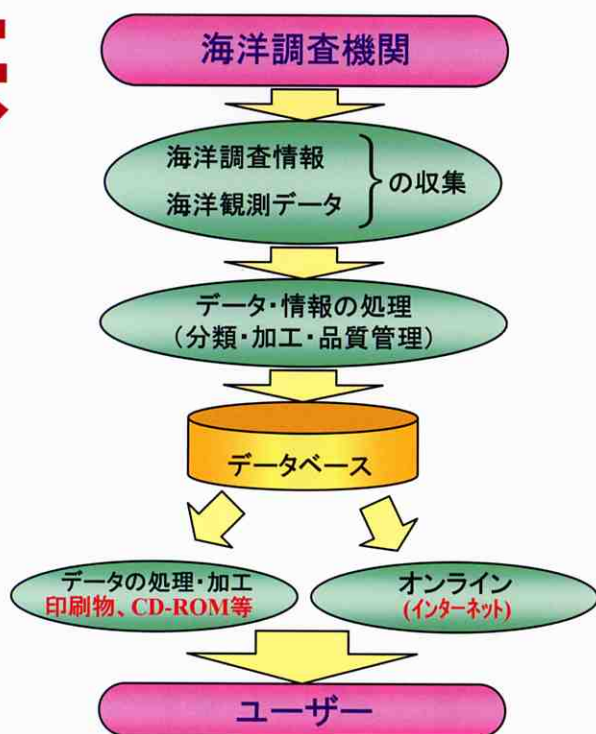
海洋情報の宝庫

我が国唯一の総合的な海洋データバンク

日本海洋データセンター (JODC)

日本海洋データセンターは、我が国唯一の総合的な海洋データバンクとして、また ユネスコ政府間海洋学委員会 (IOC) が推進する国際海洋データ・情報交換システムにおける日本の代表機関として海洋データを一元的に収集管理するとともに、国内・国際間での流通に貢献しています。

海洋情報・データの流れ



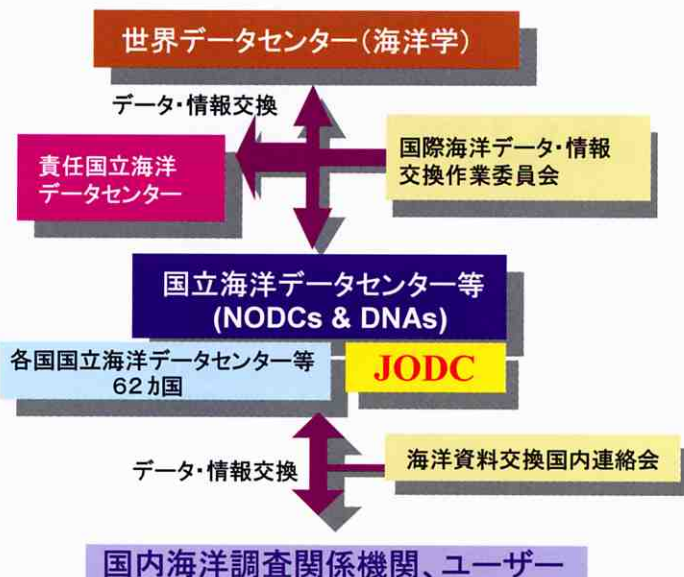
海洋データ・情報を収集するための第一歩は、海洋調査情報の収集です。そのため国内の海洋調査機関から、いつ、どこで、どんな調査が行われる予定か、また行われたかの情報を収集し、とりまとめ提供しています。

また、海洋調査情報をもとに収集した海洋観測データは品質管理等のデータ処理を行った後、インターネットなどにより提供しています。

【取り扱っている主な情報・データ】

国内海洋調査計画 (NOP)、海洋調査報告 (CSR)、水温・塩分、海流、波浪、潮汐、潮流、係留系流速、海洋汚染、水深・地質、海洋生物 など

国際海洋データ・情報交換システム



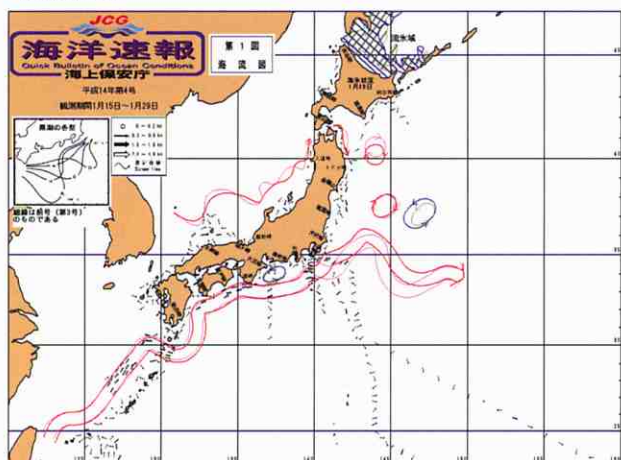
海洋データに関する情報等の入手については、

- ・ インターネットアドレス
<http://www.jodc.go.jp/>
- ・ 海の相談室（海上保安庁海洋情報部、全国11ヶ所の管区本部に設置）をご利用下さい。

海流通報

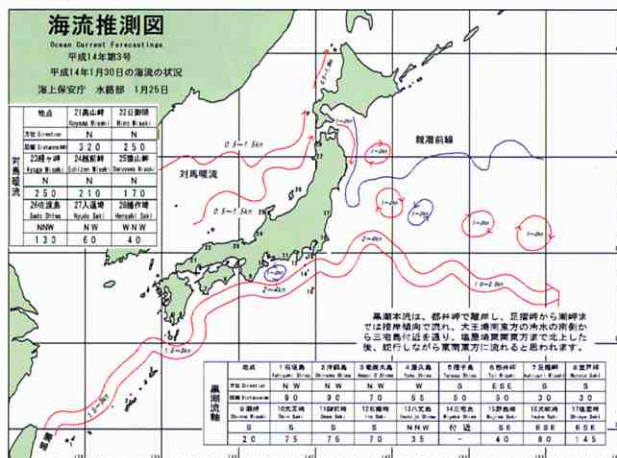
船舶交通の安全及び能率的な運航などに必要な情報として、日本周辺海域における海流、水温等の海況に関する情報をとりまとめ、海洋速報などとして提供しています。

海洋速報



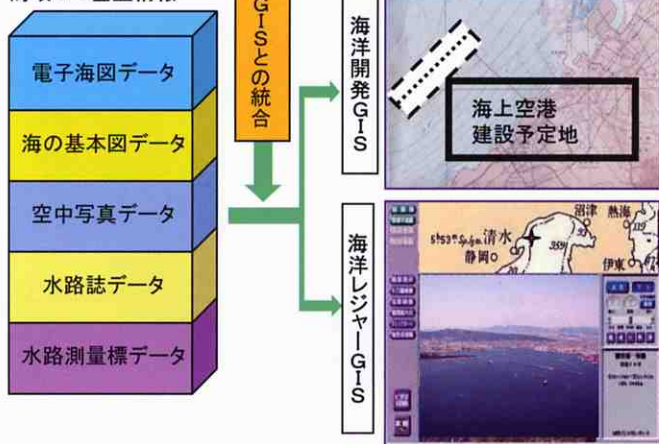
海流の現況を示すものとして、毎週水曜日に、インターネットで提供しています。

海流推測図



毎週金曜日に、5日後の海流を予測し、インターネット、ファクシミリ及びラジオ放送で提供しています。

海域GIS基盤情報



海域GISの基盤情報の利用例

海域GIS基盤情報の整備

海上保安庁では、「海の基本図」等海域におけるGISの基礎となる地図情報の数値化を行うなど、海域GIS基盤情報の整備を進めています。

注：GIS (地理情報システム：Geographic Information System)

マリンレジャーや海に関することなど

海の相談室

ヨット、釣り、潮干狩りなどのマリンレジャーで、また、仕事や研究などで海の情報やデータを知りたい時に気軽に質問や相談ができるのが海の相談室です。

海の相談室は、国内11ヶ所の管区海上保安本部にも設置され、地方に密着した相談室業務を実施しています。



海の相談室